

急性汎発性発疹性膿疱症 (AGEP)

原因薬剤不明



27歳，男．2002年4月12日に悪寒と咽頭痛が出現し翌日38℃の発熱．14日よりセフジニル，15日よりPL顆粒，ロキソプロフェンナトリウム，17日よりプロナーゼ，18日よりレバミピド内服．19日にセ

フトリアキソンナトリウム注．ほぼ全身に島状に健常皮膚を残しびまん性に潮紅，とくに間擦部に強く(左)，紅斑上に径1 mm以下の膿疱が多発(右)．(川村 愛ほか：皮膚病診療 26：43，2004)